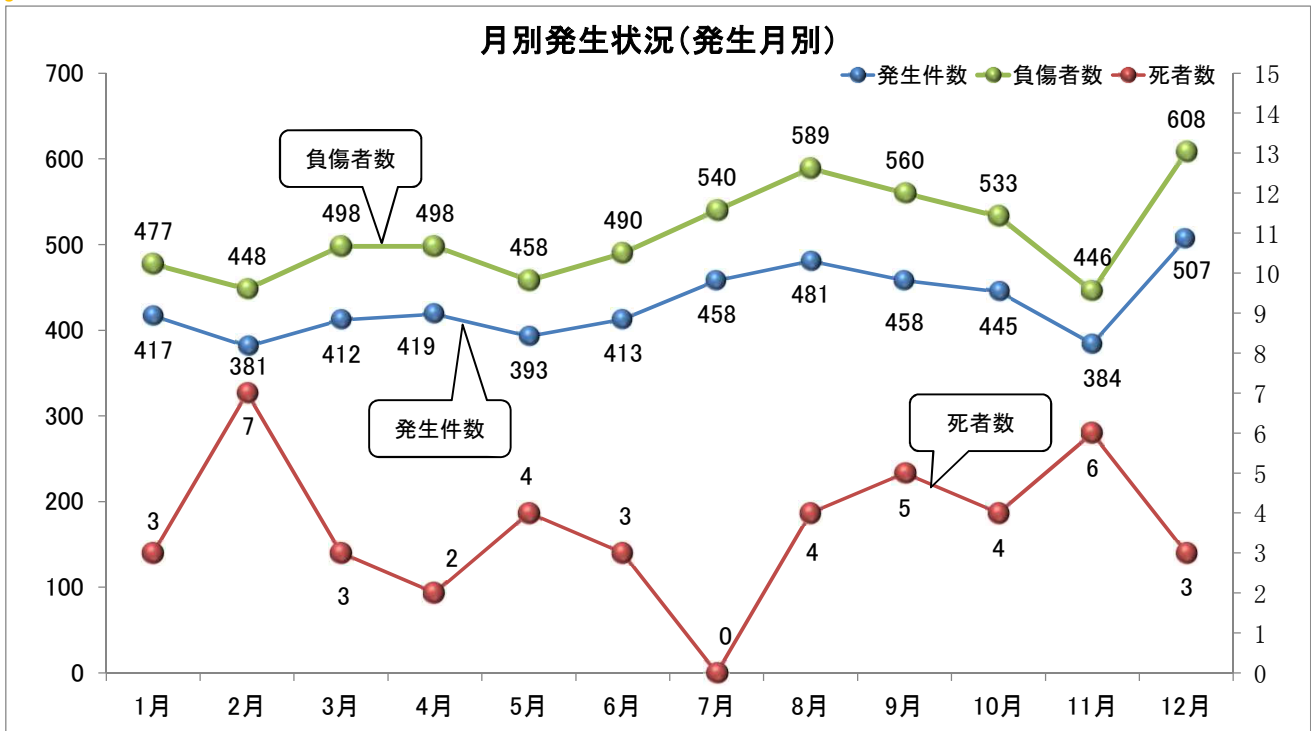


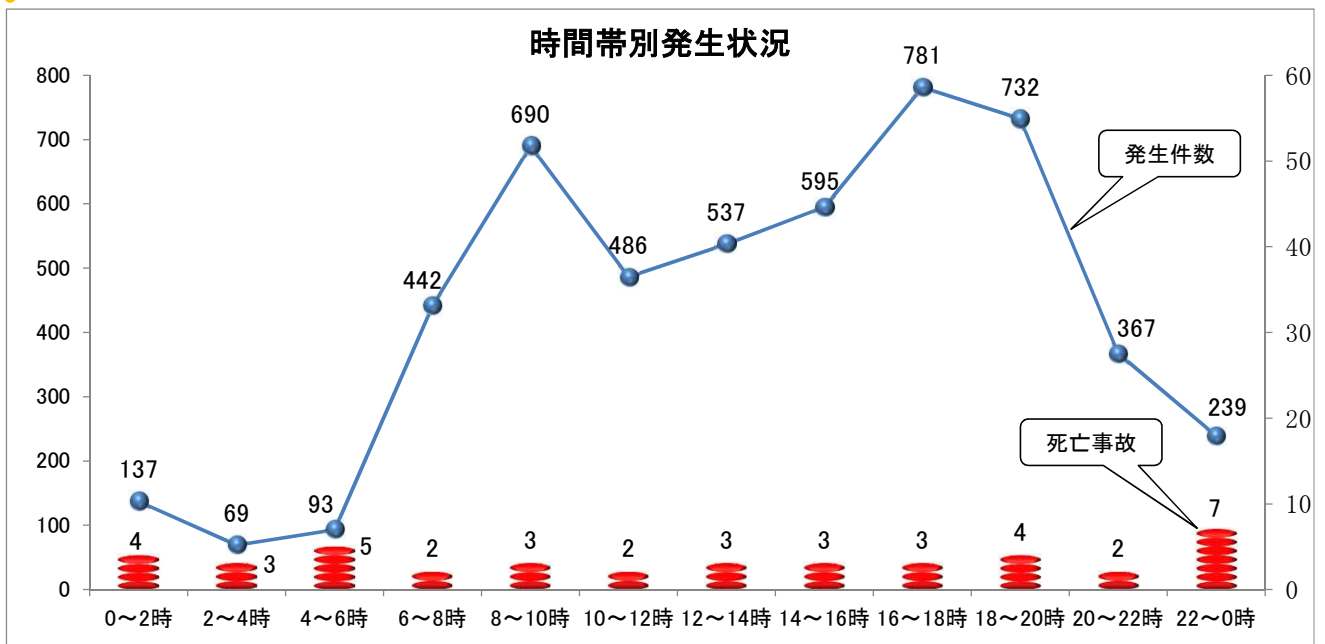
第2 平成29年中の交通事故発生状況

13 月別発生状況



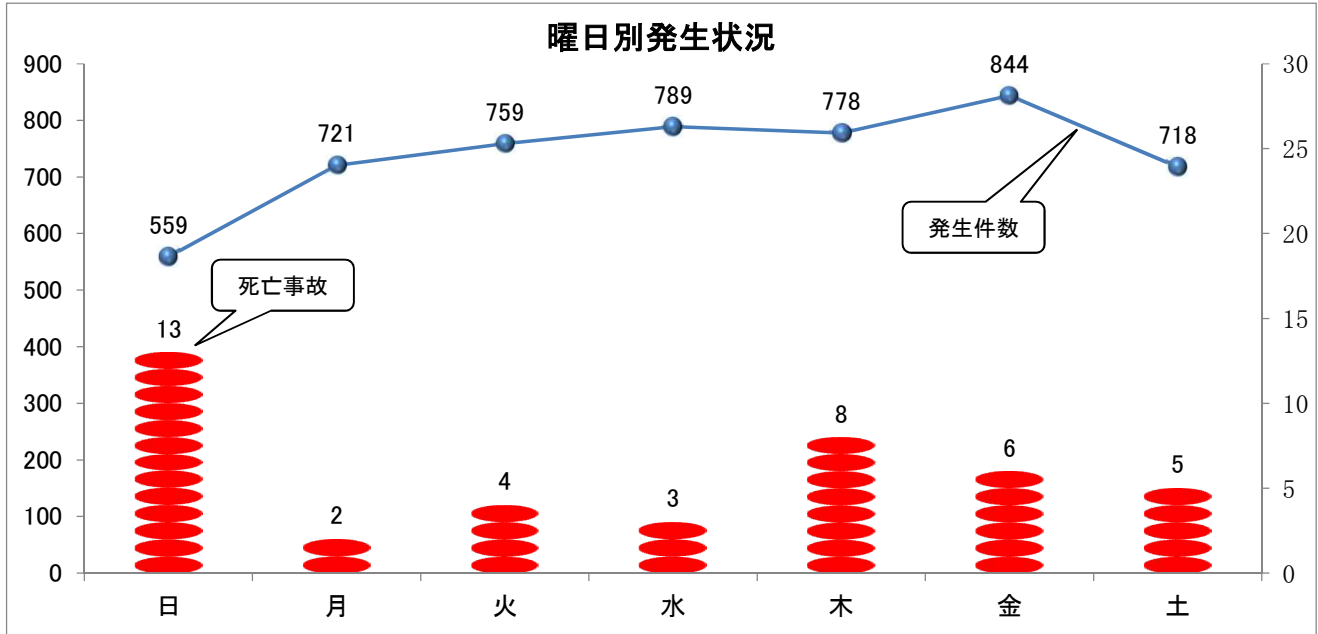
発生件数は、1ヶ月平均約430.7件で、12月(507件)が最も多く、11月(384件)が最も少なくなっています。
死者数は、2月が7人で最も多く、次いで11月の6人となっています。

14 時間帯別発生状況



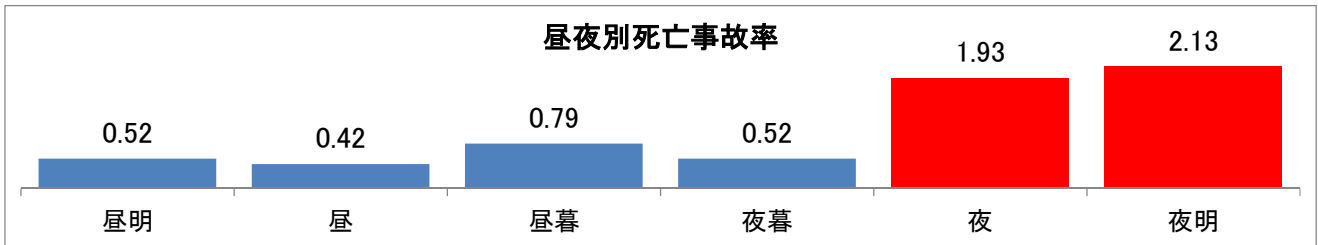
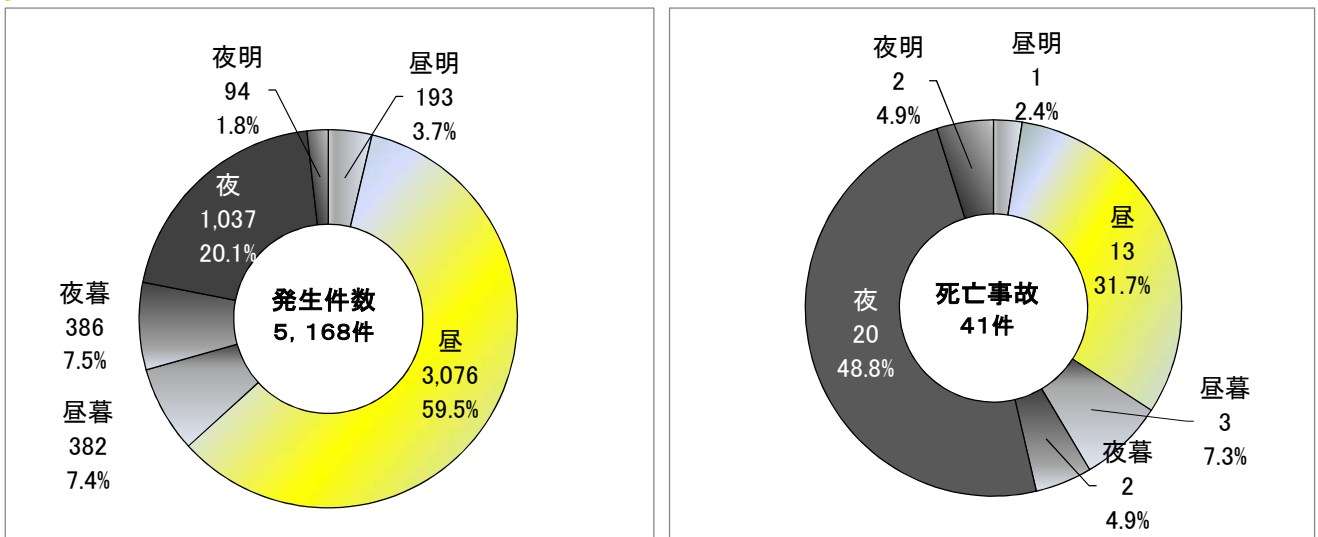
発生件数は、登校・出勤時間帯(8時~10時)と下校・帰宅時間帯(16時~20時)の発生が多くなっています。
死亡事故は22時~0時の時間帯に最も多く発生しています。

15 曜日別発生状況



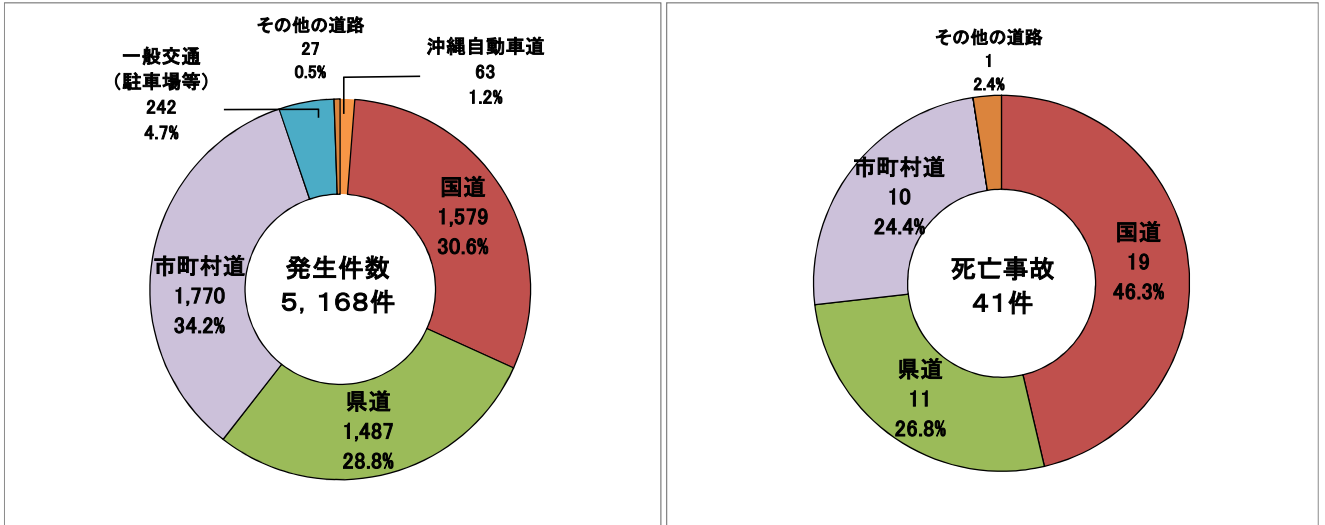
発生件数は、金曜日(844件)が最も多く、日曜日(559件)が最も少なくなっています。
死亡事故は、日曜日(13件)が最も多く、月曜日(2件)が最も少なくなっています。

16 昼夜別発生状況



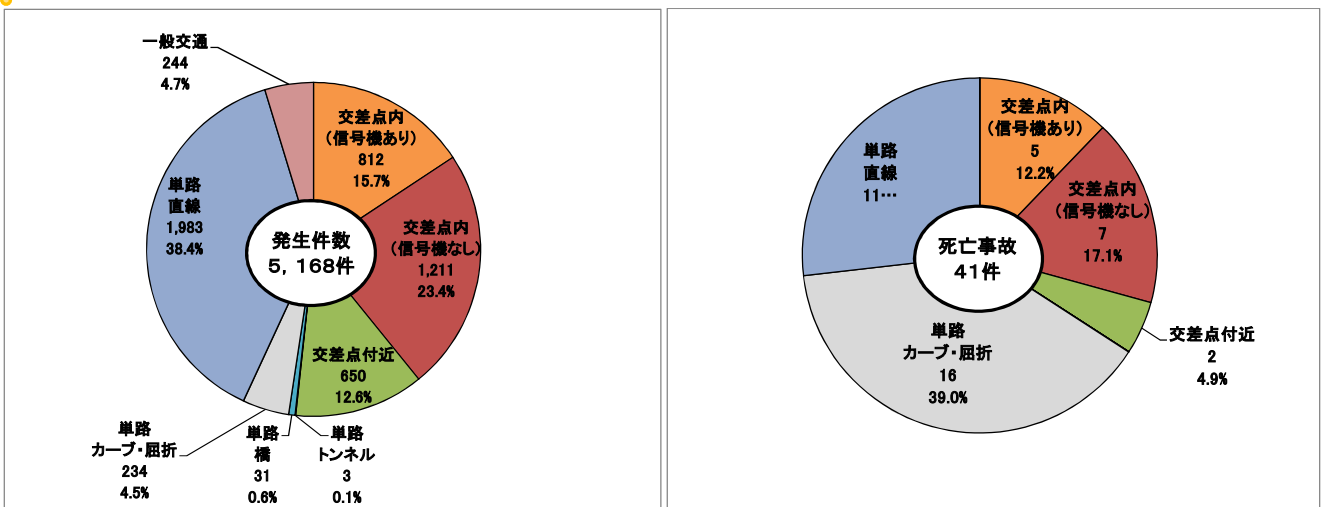
発生件数は、昼(3,076件)が最も多く、薄暮時間帯(昼明、昼暮)を含む昼間の事故は、70.6%を占めています。
死亡事故は、夜(20件)が最も多く、薄暮時間帯(夜暮、夜明)を含む夜間の死亡事故は、58.5%を占めています。
死亡事故率は、夜明(2.13%)が最も高くなっています。

17 路線別発生状況

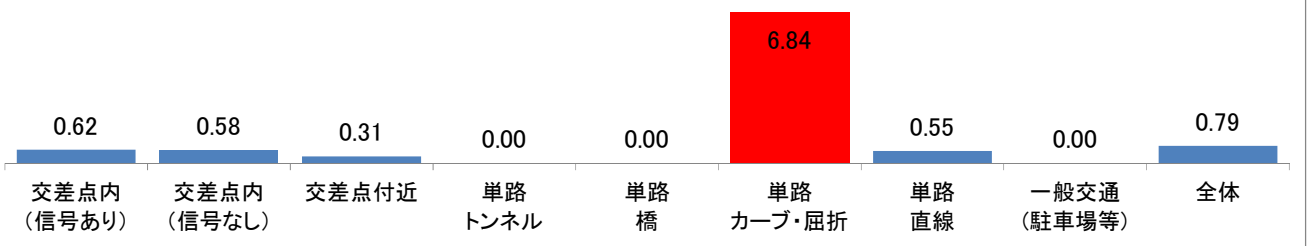


発生件数は、市町村道(1,770件)が最も多く、次いで国道(1,579件)となっています。
死亡事故は、国道(19件)が最も多くなっています。

18 道路形状別発生状況



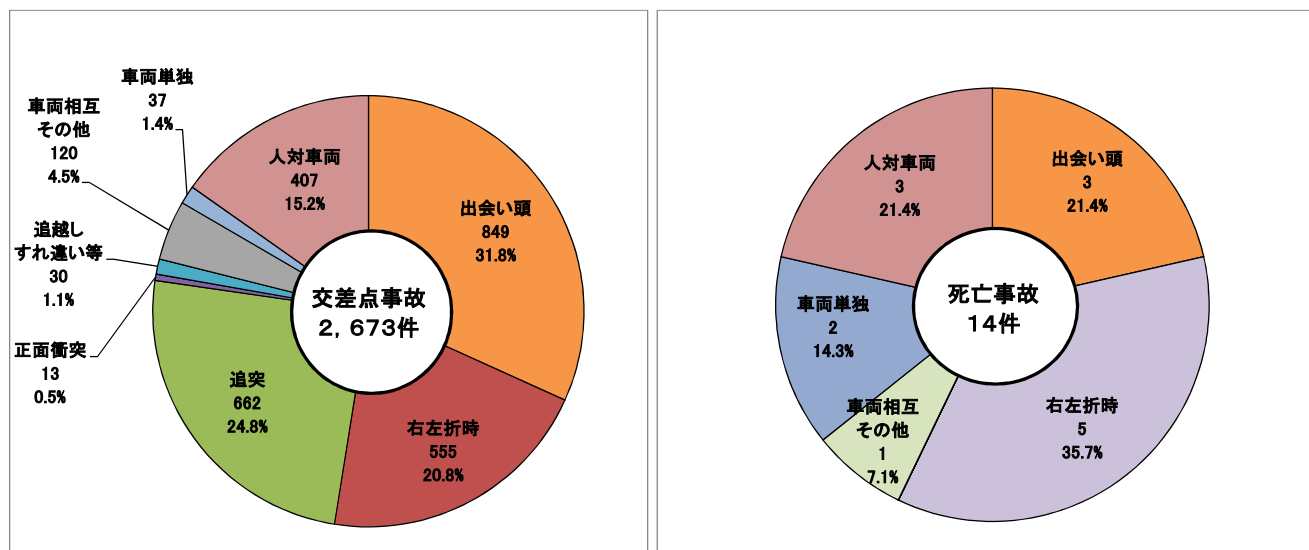
道路形状別死亡事故率



発生件数は、単路直線(1,983件)が最も多く、次いで信号機のない交差点内(1,211件)、信号機のある交差点内(812件)となっています。
死亡事故は、単路のカーブ・屈折(16件)が最も多く、全体の39.0%を占めています。
死亡事故率は、単路のカーブ・屈折(6.84%)が最も高くなっています。

19 交差点事故発生状況

交差点(付近を含む)事故の事故類型別発生状況



交差点事故(交差点付近を含む)は、出会い頭(849件)が最も多く、次いで追突(662件)、右左折時(555件)の順となっており、これらで約8割(77.3%)を占めています。
死亡事故は、右左折時(5件)の事故が多くなっています。

交差点事故の発生件数が多い市町村

市町村名	発生件数	事故類型の内訳										
		交差点事故	構成率	出会い頭	右左折時	追突	正面衝突	追越しすれ違い時	車両相互その他	車両単独	人対車両	
1 那覇市	1,460	789	54.0	227	179	153	3	9	45	11	162	
2 沖縄市	550	287	52.2	90	42	85		6	11	2	51	
3 宜野湾市	383	224	58.5	60	65	64		1	10	2	22	
4 浦添市	477	212	44.4	64	56	44	2	3	10	1	32	
5 うるま市	300	161	53.7	58	27	42	1		5	1	27	
6 糸満市	162	107	66.0	39	18	25	2		4	2	17	
7 名護市	235	98	41.7	31	25	27			2	1	12	
8 北谷町	203	96	47.3	27	18	33		4	7		7	
9 豊見城市	166	88	53.0	26	18	20		3	5	2	14	
10 南風原町	153	71	46.4	20	22	18			2		9	
全体	5,168	2,673	51.7	849	555	662	13	30	120	37	407	

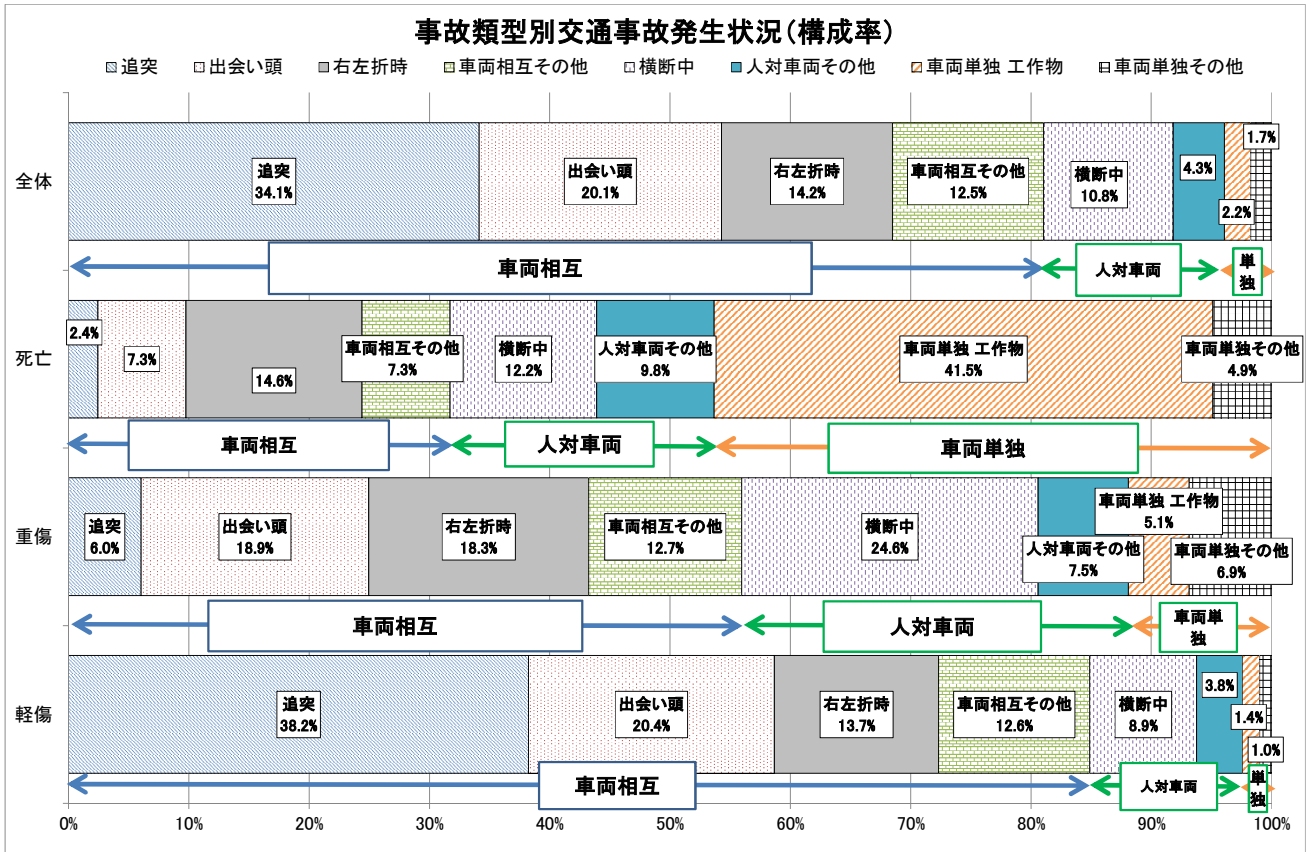
20 事故多発交差点

国道・県道の事故多発交差点

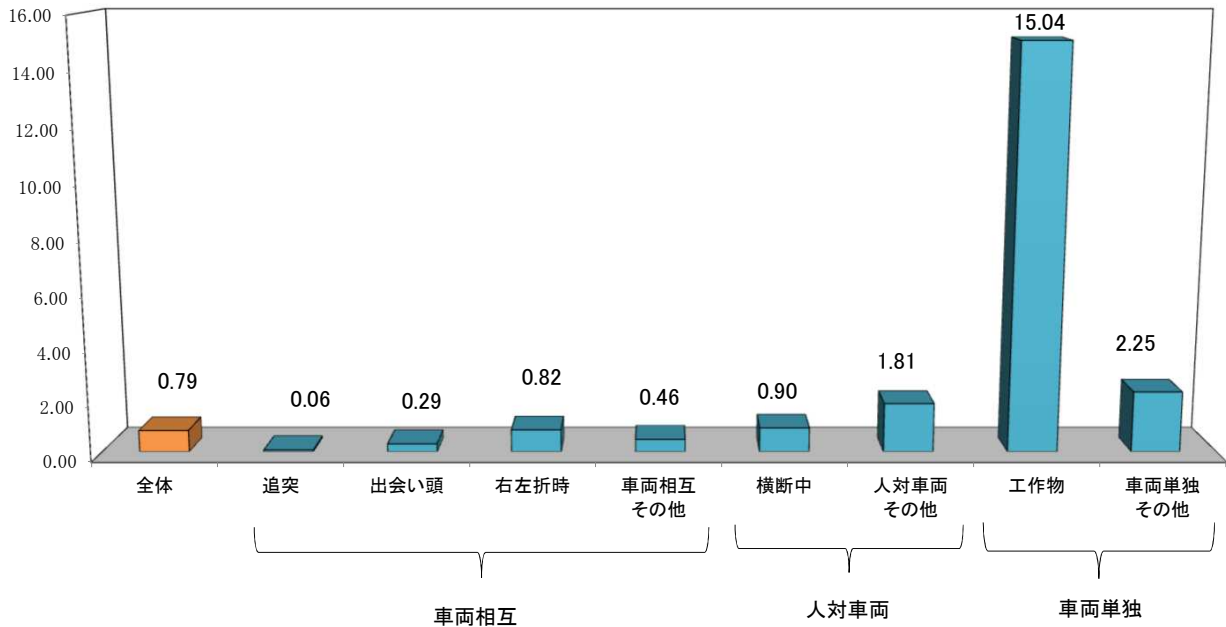
順位	警察署	交差点名	市町村名	主路線	件数	事故類型の内訳					
						横断歩道横断中	右折直進	左折時	正面衝突	追突	車両相互その他
1	那覇署	津嘉山バイパス入口交差点	那覇市	国道329号	10		10				
1	宜野湾署	旧伊佐交差点	宜野湾市	国道58号 宜野湾市道	10					10	
3	那覇署	おもろまち駅前交差点	那覇市	国道330号	9	1	4	1		2	1
3	沖縄署	沖縄南インター交差点	沖縄市	県道85号線	9		3			6	
5	那覇署	久茂地交差点	那覇市	国道58号	8	2	3		1	2	

平成29年中の交差点事故は、津嘉山バイパス入口交差点と旧伊佐交差点がそれぞれ10件で最も多く、次いでおもろまち駅前交差点と沖縄南インター交差点がそれぞれ9件、久茂地交差点が8件の順となっています。

21 事故類型別発生状況

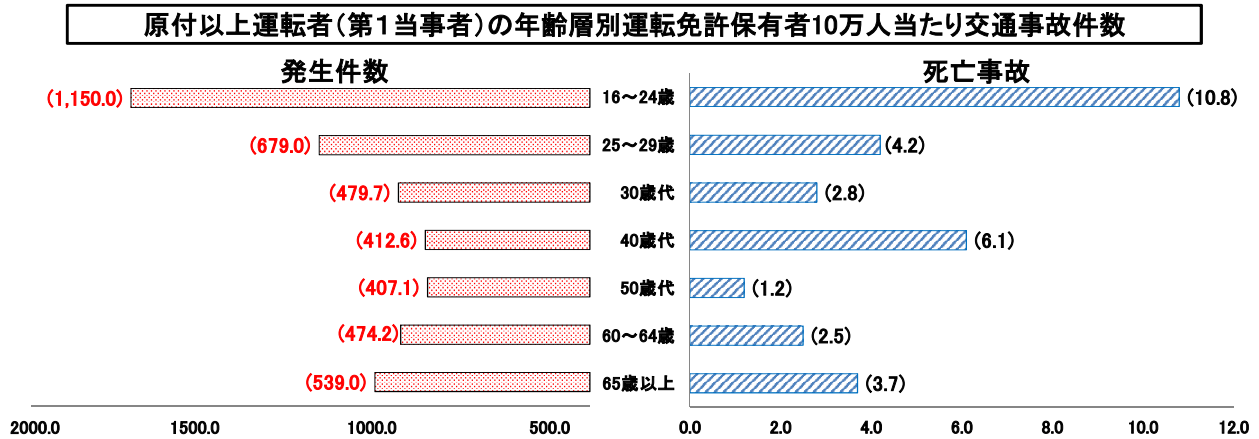


事故類型別死亡事故率



- 事故類型別の交通事故発生状況は、追突事故、出会い頭事故、右左折時が多く、全体の約7割(68.5%)を占めています。
- 死亡事故は、車両単独が46.4%、車両相互が31.6%、人対車両が22.0%となっています。
- 交通事故に占める死亡事故率は、車両単独の工作物衝突事故が15.04%と最も高く、全体(0.79%)の約19倍となっています。

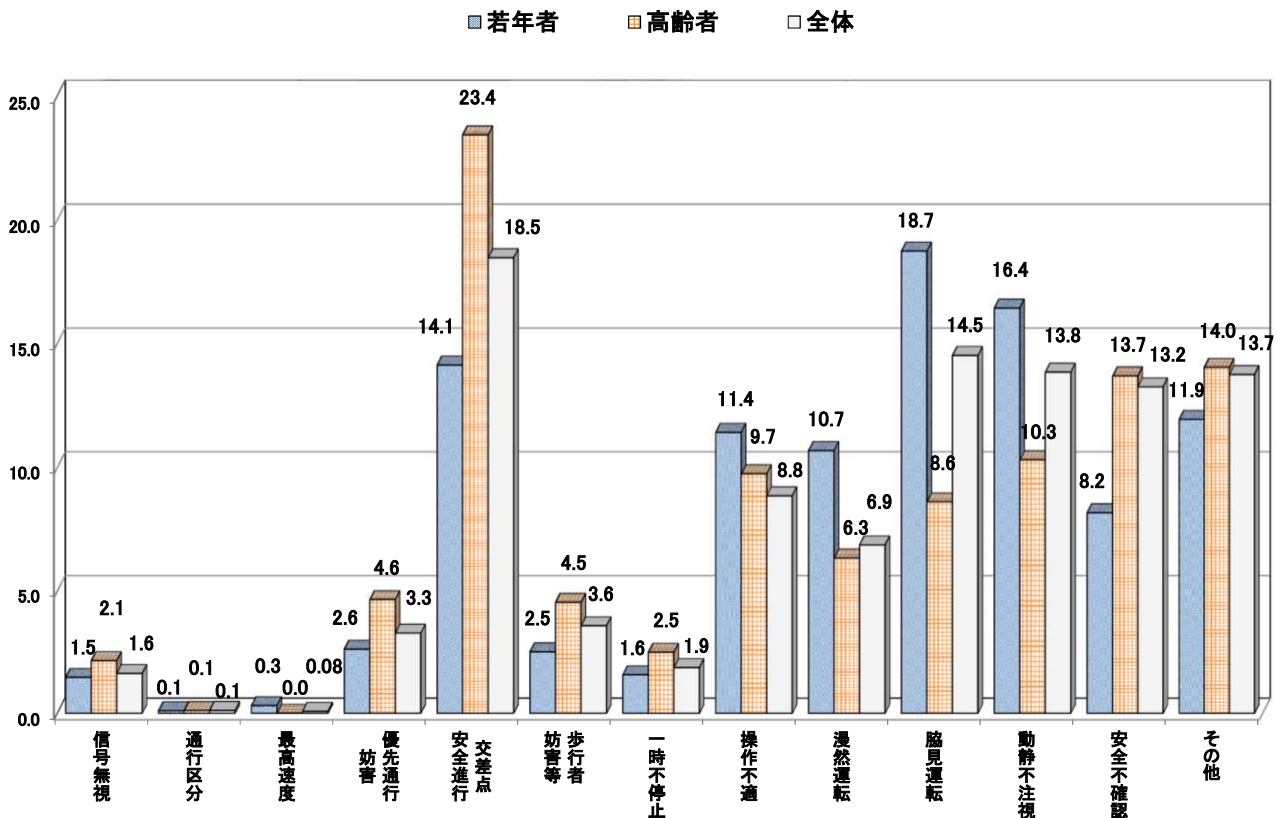
22 年齢層別発生状況



- 発生件数は、若年者(16~24歳)(1,150.0件)が最も多く、次いで25~29歳(679.0件)となっています。
- 死亡事故は、若年者(10.8件)が最も多く、次いで40歳代(6.1件)となっています。
- ※ 運転免許保有者10万人当たりでは、発生件数、死亡事故いずれも若年者の運転による事故が多くなっています。

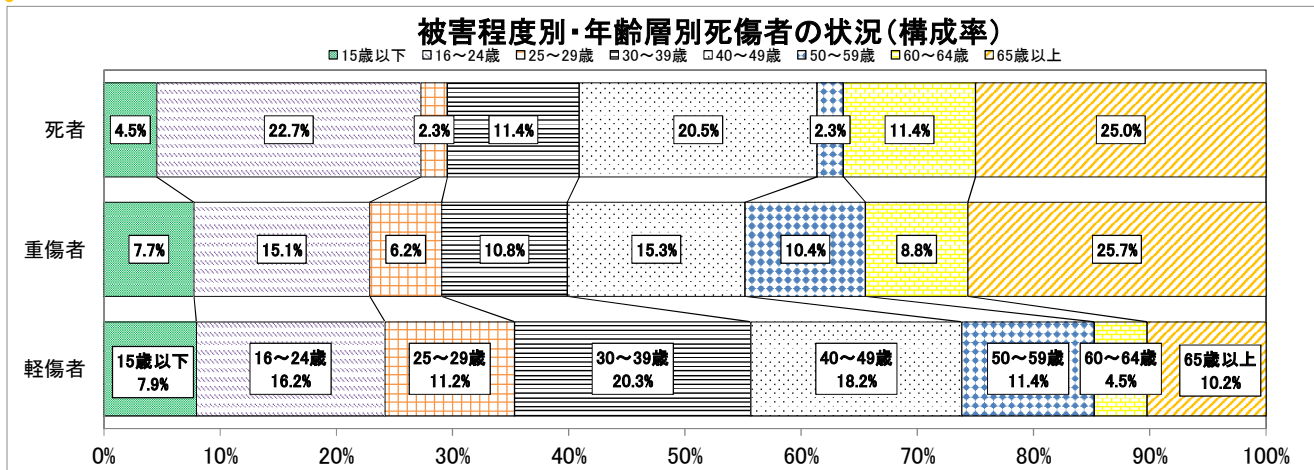
23 法令違反別・年齢層別発生状況

原付以上運転者(第1当事者)の法令違反別・年齢層別交通事故の構成率



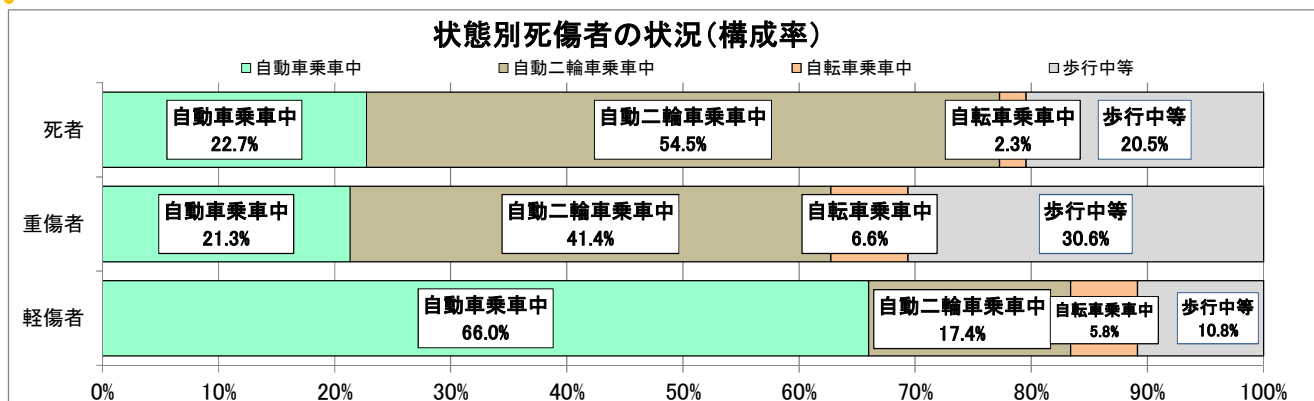
- 交通事故全体の法令違反は、交差点安全進行義務違反(18.5%)の割合が最も高く、次いで脇見運転(14.5%)の割合が高くなっています。
- 若年者(16~24歳)は、脇見運転(18.7%)、動静不注視(16.4%)の割合が高くなっています。
- 高齢者は、交差点安全進行義務違反(23.4%)、安全不確認(13.7%)等の割合が高くなっています。

24 年齢層別死傷者の状況



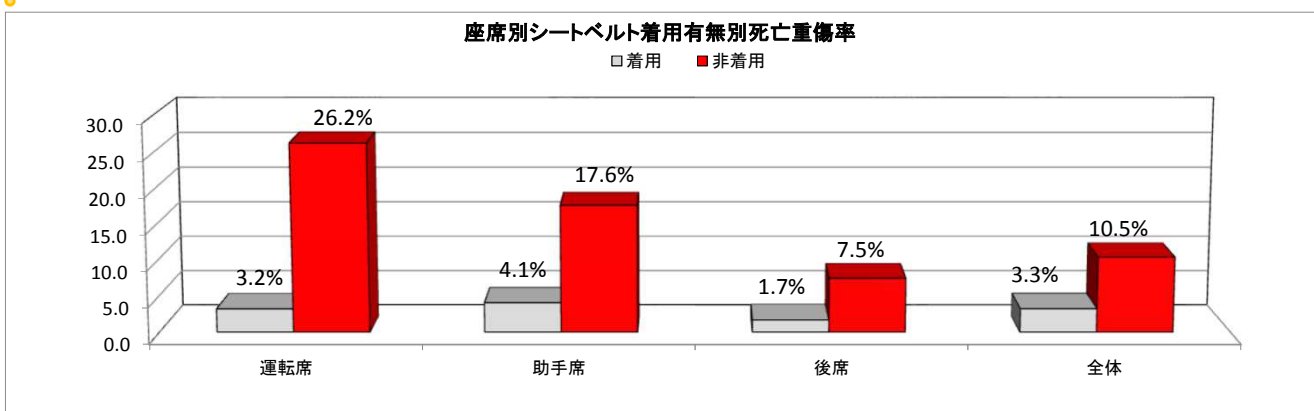
被害程度別の構成率が最も高い年齢層は、死者及び重傷者は、高齢者(65歳以上)(死者 25.0%・重傷者 25.7%)で、軽傷者は30~39歳(20.3%)となっています。

25 状態別死傷者の状況



死傷者の状態別状況は、死者及び重傷者は自動二輪車乗車中(死者54.5% 重傷者41.4%)の割合が最も高く、軽傷者は自動車乗車中(66.0%)が高くなっています。

26 シートベルト着用状況



シートベルト(チャイルドシートを含む。)着用有無別死亡重傷率は、着用者3.3%に対して、非着用の死亡重傷率が3.2倍の10.5%となっています。

座席位置別の死亡重傷事故率は、運転席の非着用が26.2%と高く、着用者の8.2倍となっています。